

令和8年7月27日（月）19:00～20:00
令和8年度長崎県医師会勤務医部会総会

1）勤務医にとっての 医師会活動のメリットとは

令和8年7月27日（月）

公益社団法人 日本医師会
常任理事 今村英仁



日本医師会キャラクター

「日医君（にちいくん）」



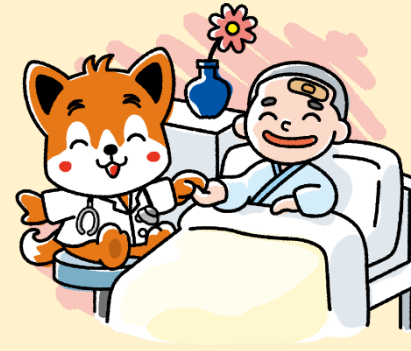
「日医君 長崎県バージョン」

はじめに

日本医師会のミッション・ビジョンとは？

➤ 日本医師会のミッション（使命）

- ・ 国民の生命と健康を守ること
- ・ 医師の医療活動と生活を守ること



➤ 日本医師会のビジョン（目指す姿） ※日本医師会綱領より抜粋

- ・ 国民の生涯にわたる健康で文化的な明るい生活を支えること
- ・ 国民とともに、安全・安心な医療提供体制を築くこと
- ・ 医学・医療の発展と質の向上に寄与すること
- ・ 国民の連帯と支え合いに基づく 国民皆保険制度を守ること



日本医師会の会員構成

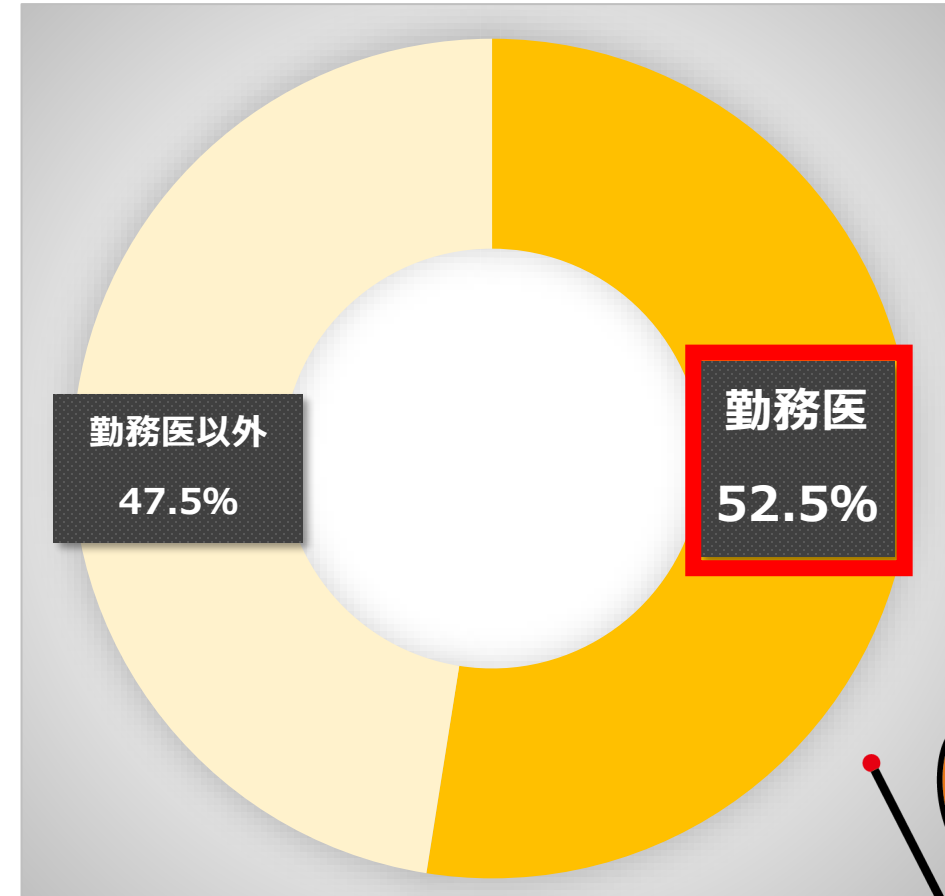
- 日本医師会は医師（日本国内の医師免許を持つ者）であれば誰でも入会することができる、すべての医師を代表する唯一の団体です。

※入会手続きは郡市区等医師会を通じてとなります。

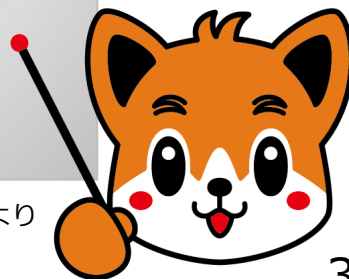
- 日本医師会を「**開業医の利権団体**」であるかのように受け止めている方もいますが、会員の約半数は**勤務医**です。
- 勤務医の先生方には、医師会活動への参画を通じて、医療現場が抱える課題などの「**生の声**」を医師会に届けて欲しいと考えています。

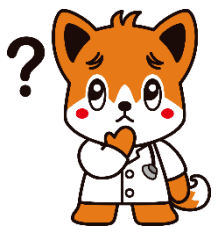
日本医師会 会員数 178,593人

令和7年12月1日現在



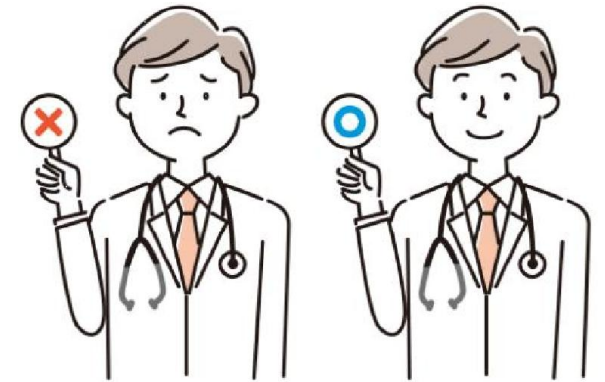
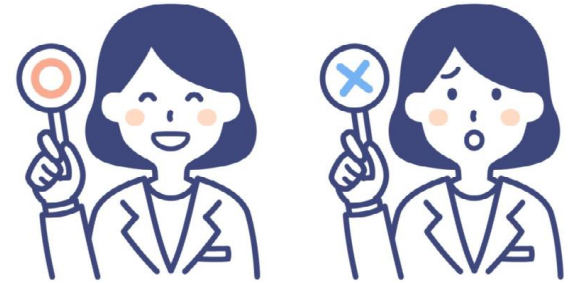
令和7年度 勤務医会員数・勤務医部会設立状況等調査結果より





勤務医と医師会。「勤務医」の声とは？

- 日本医師会は、可能な限り医療現場の声を踏まえた会務運営に努めています。そうした経験から、同じ勤務医であっても、様々なご意見があることを実感しています。
- 重要なのは、そうした多様な意見を可能な限り把握する中で、これからの医療がどうあるべきかという大局的な観点より、会務を運営していくことではないでしょうか。
- そして、医療界の意見を中央に届け、医療の現場に即した政策・制度を実現していくのが、**日本医師会の役割**です。



医師会のメリットは、 **二つの視点** で考えてください

- ・ 医師が医師会を**持つこと**のメリット
- ・ 医師が医師会に入ることのメリット



あなたが医師会に加入することが、
「国民の生命と健康を守ること」
「医師の医療活動を支えること」
につながります。



医療を取り巻く諸問題

- 新たな地域医療構想
- 診療報酬改定
- かかりつけ医機能
- 新専門医制度の見直し
- 医療DX
- 医師の働き方改革
- 医療安全・医療事故 など



医療現場の意見を伝えていくことが重要

政府会議の提言から法案成立までのプロセス

① 政府会議による提言



首相官邸



内閣府



財務省

規制改革推進会議
経済財政諮問会議
成長戦略会議など

政策の方向性・改革案等を提言

② 関係省庁での法案検討・作成



厚労省



文部科学省



環境省



国土交通省

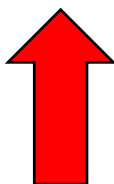


③ 国会提出・成立



国会

閣議決定後、国会へ提出
衆議院・参議院の審議を
経て、法案が成立へ



記者会見等で
提言の問題点
等を指摘



審議会等の委員と
して関係会議に参
画する中で発言



国民運動(決起集会)
議員へのロビー活動
議員の擁立 など



日本医師会

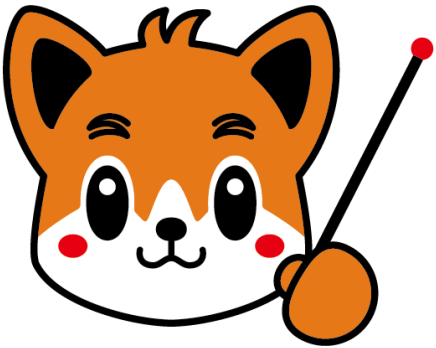
日本医師会のMission

現場の実情に根ざした提言を、医療政策の決定プロセスに的確に反映させ、国民の健康と生命を守り、医師の医療活動を支える！！



医学は、科学

医療は、制度



- ・ 制度には、ルールがある
- ・ 制度のルールは、人によって作られる
- ・ **ルールに現場の意見を反映させるには？**

制度を知り、制度に関わることが、 医療を守ることにつながる。



医療は、法律や制度のもとで提供されています。

もし、その制度に現場の医師の声が反映されなければ、

実態とかけ離れたルールが生まれ、

医療の質や安全を、自分たちの手で守れなくなってしまう。

だからこそ、

現場を知る医師自らが、制度に関わることが不可欠です。

いま議論されている制度は、将来、私たち自身の働き方や医療の質を左右します。

将来の医療のために、**私たち自身の問題として**、一緒に考えていきましょう！！

医療は制度で動いている！

一人でつぶやいても何も変わらない

現場の意見を伝える手段

医師会



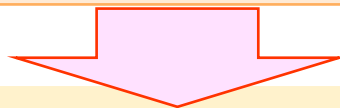
現場の声を踏まえた医療政策の実現に向けて

医療政策を検討する場には、様々なステークホルダーが参画しており、**医療界がいくら正しいことを発言しても、それが実現するとは限りません。**

より説得力のある議論を展開するため、より多くの先生方の後押し（医療現場の声）が必要であり、**より多くの先生方が医師会活動に参画することが、医師会の組織強化と発言力の強化につながります。**

物事を動かそうとしても、医師個人の力ではどうにもならないことが多くありますが、**多くの先生が医師会活動に参加することにより、先生ご自身の職務を存分に全うできる環境を実現し、それが国民により良い医療を提供し続けていくことにつながります。**

まさに先生方一人ひとりの意識が、今後の我が国の医療を変えていくことになります。



- 会員サービスによるメリットはもちろんのこと、それ以上に**「医師会を持つことのメリット」**を、今一度、すべての医師に考えていただきたいと思います。



医師会のメリットは、 **二つの視点** で考えてください

- ・ 医師が医師会を**持つこと**のメリット
- ・ 医師が医師会に**入ること**のメリット



あなたが医師会に加入することが、
「国民の生命と健康を守ること」
「医師の医療活動を支えること」
につながります。



日本医師会は
人生の道標として、
会員の皆様に寄り添い続けます。

医師が医師会に
“**入ること**”
のメリット
(主な会員サービス)



医師が心身ともに健全に、その職責を存分に発揮してもらえるよう環境整備にも取り組んでいます。

医師資格証

日本医師会員は、発行料も更新料も無料!!!

※非会員は、発行と5年毎の更新時に各5,500円がかかります。



HPKI電子署名

- 電子化された医療情報文書に対してHPKI署名を付与することで、本人であり、医師資格を持っていることを証明することができます。
- HPKI署名は、診療情報提供書の加算を算定する時の要件になっています。
- **また、現時点で電子処方箋を発行する際に求められる電子署名を行う唯一の方法です。**



- ・ 全国医師 取得率：**41.7%**
(全国保有者：144,937人／全国医師：347,772人)
- ・ 日医会員 取得率：**43.9%**
(全国保有者：78,317人／日医会員：178,593人)

※令和8年6月末時点

日本医師会医師賠償責任保険（民間保険との比較）

	日本医師会医賠償	民間保険
医療紛争の検証	各科専門の医師、医療知識を持った弁護士等で組織する審査会が判断	保険会社が判断
紛争処理の方法	医師会が弁護士の手配を代行	医師本人が対応、もしくは保険会社が弁護士を手配
会員の退会及び死亡後の特例措置	- 医師会を退会後、あるいは死亡後でもサポートが受けられる - 適用期間は10年間	- 左記のようなサポートのためには別途保険契約を結ぶ必要がある(年17,000円程度) - 適用期間は5年間
保険料	会費に含まれる保険料相当額(年間) 15,000円（研修医） ~ 66,000円（開業医）	基本保険料（団体割引・年間） 40,664円程度（研修医） ~ 91,488円程度（有床診療所院長）



- 医師本人に代わって、医師会が弁護士を手配し、迅速・適正な紛争解決をサポートします！
- 保険料も、各学会や大学同窓会と比較して安価です！
- 日医医賠償の免責金額100万円の部分については、各都道府県の医師賠償責任保険に別途加入することでカバーできます！

【参考】日医医賠償保険制度の補償対象となる事故

勤務医の先生方からいただくご質問について、回答と合わせて以下お伝えします。



現在勤務している病院以外で行った診察・治療は対象になりますか？

国内であれば医療行為を行った場所・施設は問いません。



国際線に搭乗している時に急病人が出て、機内で診察・治療を行いました。どこまでが『日本国内』としての適用になりますか？

領空・領海内が適用になります。



確認ポイント

日本医師会 A 会員が『日本国内』で行った医療行為によって患者に身体障害が発生し、損害賠償を請求された場合が対象となります。

医師年金

予定利率

現在 [※]1.5% ※ 2021年10月時点



制度加入者数

約 40,000 名



資産規模

運用資産
約 5,000 億円



- 積立型の医師専用の私的年金で、利率は現在1.5%です。
- 事務手数料が少額（0.25%）で効率的な積立ができます。
- 終身年金で一生涯受取可能です。



医師国民健康保険、医師協同組合、医師信用組合

医師国保とは？

医師とその家族が加入する自助的な保険です。医師が自ら運営し、保険料を決定したり、各種検診などの保健サービスを運営しているので、**医師にメリットの大きい健康保険**です。

医師協同組合とは？

組合員同士がお互いに助け合う『相互扶助』の精神で設立されたもの。

協同組織による事業展開の強みを活かして、良質かつ低廉な商品の購入、医業経営の安定、会員福祉の各種サービスの提供など、全国各地の医師、またその医療機関スタッフの多様なニーズに応えています。

(※全国に55組合及び5地区連合会／R6.8.26全医協連HP確認時)

医師信用組合とは？

医師の医師による医師のための金融機関。

医師会会員の先生方のための医療特化型専門金融機関として、先生方のライフプランに的確に対応できる金融サービスの提供を目指しております。

(※神奈川県医師信用組合ホームページより抜粋)

(※全国に19組合／R6.8.26確認時)

産業医にかかわる日本医師会の制度

I. 日本医師会認定産業医

所定のカリキュラムに基づく産業医学基礎研修50単位以上を修了した医師、または、それと同等以上の研修を修了したと認められる医師に、申請に基づき日本医師会認定産業医の称号を付与し、認定証を交付します。**この認定証をもって労働安全衛生法に規定された産業医の要件を満たし、産業医活動を実施することができます。**

また、この認定証は、有効期間5年間に、産業医学生涯研修20単位以上を修了した医師について更新ができます。

II. 産業医学講習会

日本医師会では、産業医学生涯研修単位を取得できる研修として、「産業医学講習会」を50年以上にわたり実施しています。

産業医学講習会では、3日間の講習で産業医学生涯研修単位が16.5単位取得できるほか、労働衛生コンサルタント試験（保健衛生区分に限る）の筆記試験の免除を受けることができます。

【産業医学講習会 受講料】



日本医師会会員：15,000円

非会員：27,000円



日本医師会認定スポーツ医制度

I. 目 的

日本医師会では、平成3年、地域社会における運動への関心の高まりから、運動を行う人に対して医学的診療のみならず、メディカルチェックや運動処方を行い、各種運動指導等に指導助言を行い得る医師を要請することを目的として、認定健康スポーツ医制度を発足した。

II. 概 要

所定のカリキュラムに基づく健康スポーツ医学講習会（25科目）を修了した医師を日本医師会認定スポーツ医として認定している。

認定証更新のためには、有効期間の5年間に健康スポーツ医学再研修5単位以上を修了し、かつ健康スポーツ医としての実践活動を行う必要がある。

III. 実 績

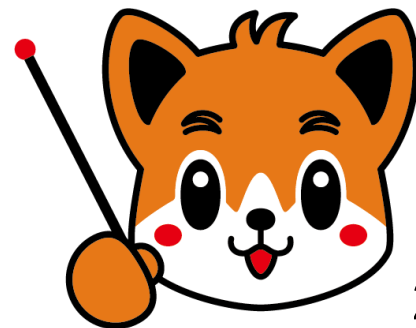
この制度では都道府県医師会が窓口となり、各種申請の受付等を行っている。令和7年3月末までに延べ25,507人の認定健康スポーツ医を養成している。

IV. 費用（前期後期合算額）



日本医師会会員：20,000円

非会員：36,000円



日医かかりつけ医機能研修制度

【目的】

今後のさらなる少子高齢社会を見据え、地域住民から信頼される「かかりつけ医機能」のあるべき姿を評価し、その能力を維持・向上するための研修を実施する。

【実施主体】

本研修制度の実施を希望する都道府県医師会

平成28年4月1日より実施

【かかりつけ医機能】

1. 患者中心の医療の実践
2. 継続性を重視した医療の実践
3. チーム医療、多職種連携の実践
4. 社会的な保健・医療・介護・福祉活動の実践
5. 地域の特性に応じた医療の実践
6. 在宅医療の実践



【研修内容】

基本研修

日医生涯教育認定証の取得。

応用研修

日医が行う中央研修、関連する他の研修会、および都道府県・郡市区医師会が主催する研修等の受講。

規定の座学研修を10単位以上取得

実地研修

社会的な保健・医療・介護・福祉活動、在宅医療、地域連携活動等の実践。

規定の活動を2つ以上実施（10単位以上取得）

3年間で上記要件を満たした場合、都道府県医師会より修了証書の発行（有効期間3年）。

日本医師会生涯教育制度の概要

〈制度概要〉

本制度は、医師の研修意欲をさらに啓発・高揚させること、一方で社会に対して医師が勉強に励んでいる実態を示し、国民からの信頼を増すことを目的としており、**連続した3年間の単位数（30分で0.5単位）とカリキュラムコード数（同一コードは加算不可）の合計数が60以上の者に「日医生涯教育認定証」を発行します。**

〈単位・カリキュラムコードの取得方法〉

1. 日本医師会雑誌を利用した解答

2. 日本医師会e-ラーニングによる解答

3. 講習会・講演会・ワークショップ等

4. 医師国家試験問題作成

5. 臨床実習・臨床研修制度における指導

6. 体験学習（共同診療、病理解剖見学、症例検討、手術見学等の病診・診診連携の中での学習）

7. 医学学術論文・医学著書の執筆

※ **1・2は日医会員のみ。** 3～7は非会員も可。

一部コンテンツにおいて、
日本専門医機構が示す
「専門医共通講習」の
単位を取得できます。

連続した3年間で
単位数 + カリキュラムコード数
合計 **60** 以上

「日医生涯教育認定証」を発行



認定期間は**3**年



ジャーナル・インパクトファクター**1.8**を取得

(2025.6 クラリベイト社発表)



- 日本医師会は、日本医学会との協力により、2018年9月28日、**英文誌『JMA Journal』**を創刊しました。年4回発行しており、優れた学術成果を広く世界に公開することで、国際的な医学の高揚と医療の質の向上に貢献することを目指す総合医学雑誌です。
- 創刊号には、山中伸弥京都大学iPS細胞研究所名誉所長・教授による「人工多能性幹細胞（iPS細胞）技術の臨床への応用」についてのレビュー論文をはじめ、日本のトップの研究者らの論文が掲載されています。
- 掲載論文は医学、医療全般をカバーし、医療政策やオピニオンを含む幅広い分野について、国内外の医学研究者、その他医療従事者からの投稿を募集し、**投稿料、掲載料、オープンアクセス料は当面無料**としています。
- JMA Journalは**オンラインジャーナル**です。査読後、受理された論文から速やかに早期公開されます。
- J-Stage、PMC、ESCIに収載されており、2024年のジャーナル・インパクトファクターは1.8です。諸外国からのアクセスも年々増加しています。



日本医師会入会案内冊子



くわしくは
入会案内冊子を
ご覧ください



(入会案内QRコード)

- 医師資格証 👉 会員は発行料・更新料が無料
- 日本医師会医師賠償責任保険
- 医師年金
- 医師国保
- ドクターサポートセンター（女性医師バンク）
- 認定産業医・認定健康スポーツ医
- 研究・学習支援
 - 生涯教育制度
 - 国際的な研究・高度研修プログラム
- その他

会員サービス以外の目には見えないメリット その①

ネットワークが拡がり、
より大きな視野で医療を見渡す
ことができる！



医療は必ずしも自院で完結するものではありません。
医師会を中心に、医療機関等が一丸となって、各地域の
医療を「面」で支えています。

医師会に入会することによって、**他の病院や診療所との
関わり**ができ、顔の見える関係の中で、**より大きな視野
をもって、医療を提供することができる**ようになります。

医師会活動のダイナミズムをぜひ実感してください！

会員サービス以外の目には見えないメリット その②

自院を超えた仲間づくりと、
これからの医療を共に歩む同志
との出会いがある！

自らの医療を向上させていくためには、切磋琢磨できる多くの仲間との出会いが重要です。

医師会には、**自院を超えた仲間づくりの多くの機会**があります。

医師会で、**自らの医療に資する仲間づくりと同志との出会い**を通じて、**共に我が国の医療の維持・発展に尽くしていきましょう！**



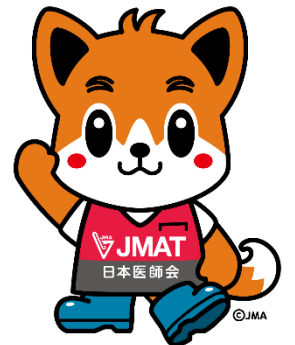
会員サービス以外の目には見えないメリット その③

医師会活動を通じて、 地域や社会にも貢献することができる！

医師会は、「地域の時間外・救急対応」「行政等の公益活動」「地域保健・公衆衛生活動」など、国民の生命と健康を守るために、**地域に根差した様々な活動**を行っています。

また、自然災害等の有事に際しては、**日本医師会災害医療チーム(JMAT : Japan Medical Association Team)**を組織し、被災地支援等を行っています。

自院での活動を超えて、地域や社会に貢献することができるのも、医師会活動の醍醐味の一つです！



会員サービス以外の目には見えないメリット その④

自らの意見を発言できる場所、
その意見を中央に届けてくれる手段、
それが医師会です！

みなさんが日々行っている診療の中で、医療をめぐる多岐にわたる課題に対し、それぞれが様々な想いを抱いていると思います。

その想いは**必ずしも一個人、一病院で解決できるものではない**かもしれません。

医療現場の環境改善に向け、勤務医の皆さんからの声を日本医師会に届けてください！



医学部卒後 5 年間は入会のデメリットはありません

- 多くの都道府県医師会及び郡市区等医師会の会費も、卒後 5 年間免除（※会費を免除されていない場合は、ぜひ会費免除にご協力ください）。
- 入会・異動・退会の手続きは、スマホ・PC等で可能！
- 会員のメリットは、6年目以降と基本的に同一
- 医師賠償責任保険の割引が適用
※31歳以上の勤務医 36,000円のところ
30歳以下の勤務医 15,000円、研修医 15,000円

**医師会の将来を担う若手医師の入会についても
特段のご協力をよろしくお願いします**





日本医師会入会案内



日本医師会
Japan Medical Association



日本医師会は、医師たる者はすべて医師会に入会してほしいと考えています。

たとえば、病気を予防して、多くの人が健康に暮らせるようにすること。
病気になったり、けがをしたら、いつでもどこでも
適切な医療を受けられるようにすること。

一人ひとりの医師が、知識や技術を存分に高め、
安心して診療に従事できるようにすること。
そしてそれらのために、国や地方自治体に働きかけること。

これらのことを中心になって行っているのが
我が国の医師を代表する唯一の団体である、医師会です。

医療が制度の上で成り立っている以上、
より良い医療環境を実現していくためには、医療現場の声を
医療制度の決定プロセスに反映させていくことが必要です。

医療現場を熟知する医師会員一人ひとりの
医師会に対する後押しが、国民の医療を守り、
医師がその職務を存分に全うできる環境の実現につながります。

国民皆保険のもとで、誰もが必要な医療を適切に受けられる環境を
堅持していくためにも、医療を担う専門職の一人として、
医師会員の一員となり、ともに日本の医療を支えていきませんか。



INDEX

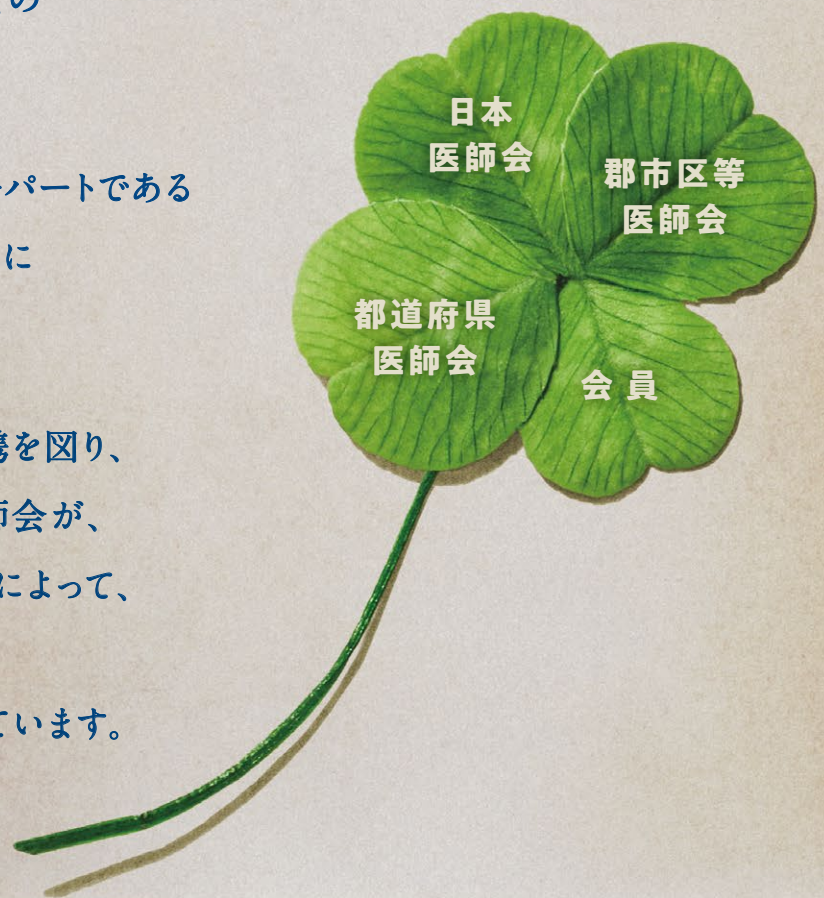
INVITATION	1
INDEX	2
日本で唯一医師を代表する団体	3
地域医療	5
医療現場の声を国に届ける	7
日本医師会は人生の道標	9
医師賠償責任保険制度	11
医師資格証(HPKIカード)	13
認定産業医・認定健康スポーツ医	15
医師年金	17
医師国保	19
ドクターサポートセンター(日本医師会ドクターバンク)	21
生涯教育制度	23
学習支援	25
研究・表彰	27
入会のご案内・日本医師会 会費	29
都道府県医師会連絡先	30

日本で唯一 医師を代表する団体

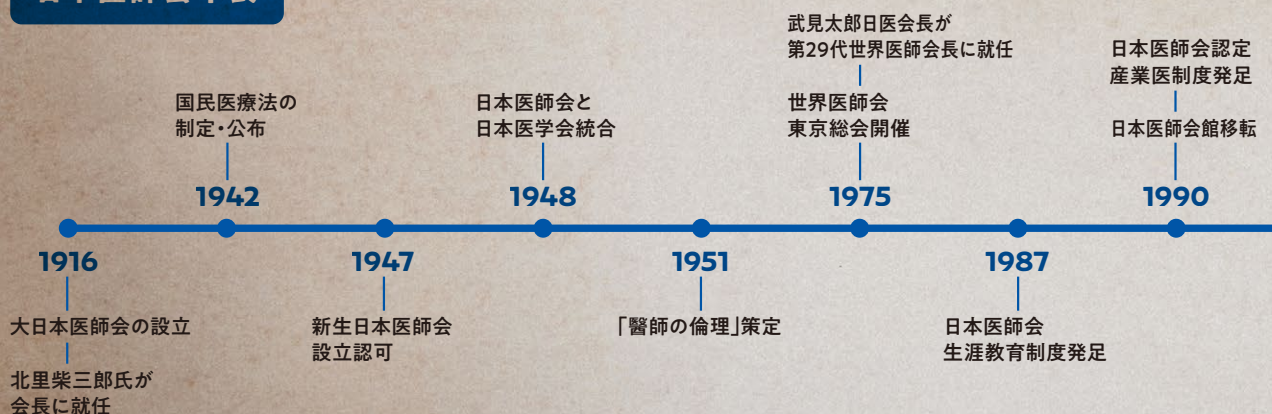
医師会組織は、郡市区等医師会、
都道府県医師会、日本医師会の
3層構造になっています。

そして、各医師会のカウンターパートである
「市区町村」「都道府県」「国」に
対応しています。

3層の医師会が緊密なる連携を図り、
全国津々浦々に存在する医師会が、
それぞれの役割を果たすことによって、
「国民の生命と健康」を守り、
「医師の医療活動」を支援しています。



日本医師会年表



〔行政のカウンターパートとしての医師会〕

診療行為地域の医療・保健・福祉の向上に寄与

地域医療の最前線のベースを守る

地域医療の最前線で活動しているのが郡市区等医師会です。市区町村と協議を行いながら、学校健診や乳幼児健診、予防接種などの予防医療や、初期救急医療体制の維持などを行っています。また、医師会病院、老人保健施設、看護師等養成所、健診センター、訪問看護ステーションなどを運営している場合もあります。

都道府県民の健康を守る協議を行う

各都道府県の医療政策に基づき、都道府県民の健康を守るための各種協議会や啓発活動を行います。また、救急・災害医療に関する取り組みは都道府県医師会が主体となって行っている場合が多いです。さらに、都道府県医師会は大学との窓口にもなっており、学術・教育・研究部門の支援活動も行っています。

医師の代表として国に提言

医師を代表し、国・官公庁に対して医療政策に関する様々な諮問や提言を行っています。日本医師会内には、医療における様々な問題について議論する約50の委員会があります。さらに厚生労働省や内閣府を中心とした官公庁の審議会に役員が出席し、医療提供側からの意見を提出しています。



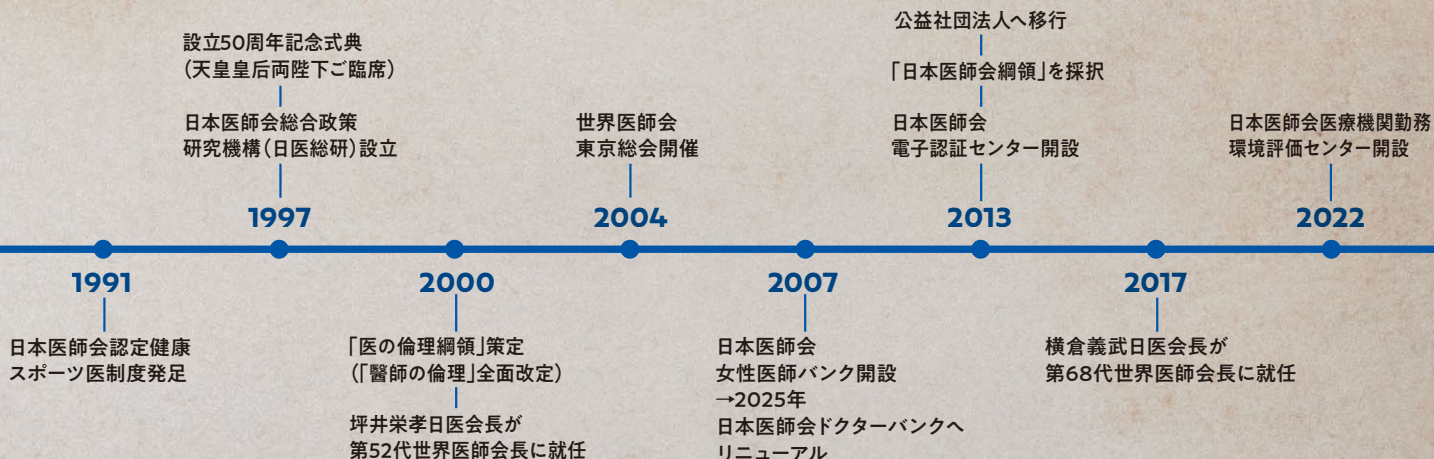
*1 医師会員 (178,593)

会員の構成は開業医が約4割、勤務医等が約6割となっています。

*2 都道府県医師会 (47)

*3 郡市区等医師会 (822)、大学医師会 (65) (令和7年12月1日現在)

国・都道府県・市区町村の3層構造



地域医療

一人ひとりの医師の活動には限界があります。
専門性をもつ多くの医師が医師会活動を通じて
地域を面として支えています。

高齢者施設

配置医師・嘱託医として
施設の高齢者の
健康を見守る

地域包括支援 センター

多職種連携で
地域の高齢者を支える

地域連携

基幹病院等と
かかりつけ医が
連携して医療を提供

休日夜間診療

初期救急を当番で担当
することで、基幹病院の
救急対応をサポート

予防接種・ 健（検）診

疾病予防・早期発見の
ための、健（検）診・
予防接種体制確保

災害時には、医療従事者の協力を
得て日本医師会災害医療チーム
JMAT*を結成し、多くの医療チー
ムを被災地に派遣しています。

*JMAT: Japan Medical Association Team



企業

産業医として
労働者の健康を守る

看護師・ 准看護師養成所

地域で働く看護職を
育成するために、
地域の医師会が運営

〇〇病院

地域医師会

地域医師会

地域の医師や
医療・介護関係者が集い、
より良い医療体制を検討

学校

学校医として
児童・生徒の
成長・健康を見守る

県庁・市区町村

行政との連携

行政・医師会、
お互いの意見を調整して
政策を実施

警察

警察活動等への
協力

市民講座

地域住民への
医療啓発活動

POLICE



日本医師会は、医師個人を代表する
唯一の団体として、医療現場の声を
国に届けるために、日々活動しています。

皆様の声を届けるため、厚生労働省をはじめ、内閣府、
内閣官房、文部科学省、環境省、国土交通省、経済産業省、
消防庁、こども家庭庁など、14の省庁等にわたる
約200の各種会議（令和7年12月1日現在）に参画しています。

また、医療現場の声を要望書などの形に取りまとめ、
関係各方面に働きかけています。

様々なステークホルダーが参画する医療制度の
決定プロセスに、医療界の意見を反映し、より良い
医療環境を実現していくためにも、医師会の一員となり、
皆様の声をお聞かせください。

医療現



場の声を国に届ける

日本医師会は 人生の道標として、 会員の皆様に寄り添い続けます。



医師が心身ともに健全に、その職責を存分に発揮し

医師賠償責任保険制度



医事紛争から医師を守る
強力なサポート体制が
あります。

医療事故が起きてしまったとき、あなたを強力にバックアップします。

日本国内であれば勤務先にかかわらず補償されます

研修医及び
医学部卒後5年間は
会費免除



会員特典として
年間**15,000円**
で医賠責保険に加入できます。

※ただし、病院や診療所の開設者・管理者等や30歳超は掛金が異なります。
※医学部卒業後5年間を超えた研修医は、令和8年4月1日より会費を免除。

万が一、会員の医療事故により民事上の紛争が起こってしまった場合、会員が安心して医療活動に専念できるよう、日本医師会・都道府県医師会・市区等医師会・保険会社が全面的に協力して紛争解決にあたります。また、産業医・学校医等の活動に対する補償も付帯されていますので、とても安心です。

医師賠償責任
保険制度
の詳細はこちら



万全なサポート体制

STEP-1 賠償責任の有無や賠償額を専門の機関が判断

医師賠償責任保険には医療・法律の専門家による中立的な調査・審査機関が事案を1つ1つ調査し、中立・公正な判断を行います。



STEP-2 交渉や訴訟を全面的にサポート

交渉や訴訟など、解決まで弁護士の手配等、会員ができるだけ矢面に立つことなく紛争を解決できるよう、医師会が全面支援します。

充実の補償額

STEP-1 1事故につき1億円まで補償

支払限度額は、1事故につき1億円、保険期間中3億円(免責金額100万円)が補償されます。



STEP-2 更に高額の補償を希望する方に

特約保険に加入することにより、1事故につき3億円、保険期間中9億円(免責金額100万円)の補償にグレードアップすることができます。

幅広い補償範囲と付帯サービス

STEP-1 日本国内のどの医療機関での医療行為も補償

日本国内であれば非常勤を含め、どの医療機関で診療等の医療行為を行う場合であっても補償されます。



STEP-2 付帯されるサービスが充実

産業医・学校医等の医師活動賠償責任保険および医療通訳サービス*が自動付帯されています。

*A1会員が開設者、管理者である医療機関の医師、職員が利用可能

日医ペイハラ・
ネット相談窓口

日本医師会ペイシェントハラスメント・ネット上の悪質な書込み相談窓口

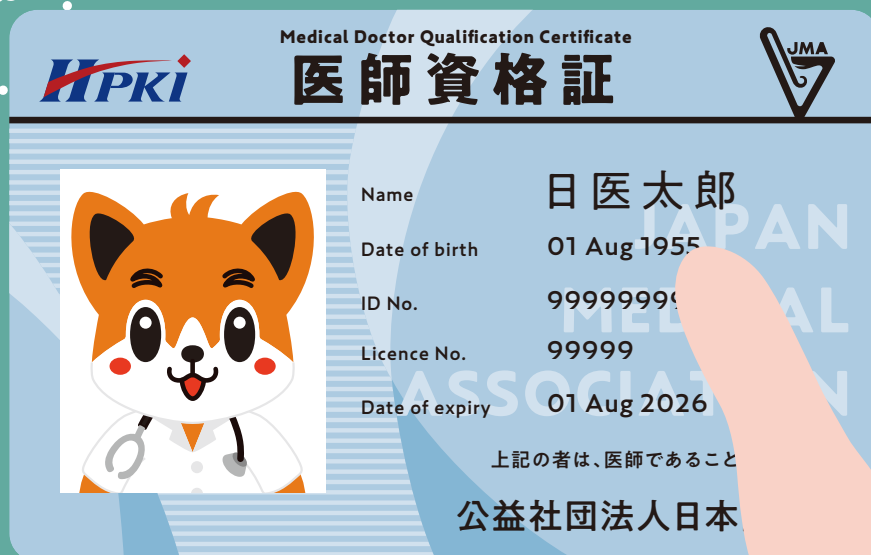
医療機関および医療者に対するペイシェントハラスメントや、ネット上における誹謗中傷を受けた場合に、日本医師会会員が利用できる相談窓口を開設しています。相談はWEBフォーム(24時間)・電話(平日9時~18時)で受け付けています。

日医ペイハラ・ネット相談窓口
の詳細はこちら



医師資格証(HPKIカード)

会員の
発行料・
更新料は
無料!



デジタル化する医療に 対応する カードがあります。

医師資格を証明するHPKIカードは
医療DXに対応する様々なシーンで必要となるカードです。

医師として働くために必要なカード

医師資格証（HPKIカード）

日医会員の発行料／5年ごとの更新料は無料です。（非会員は有料）

※紛失・破損等による再発行の場合は有料になります。

HPKIは保健医療福祉分野の公開鍵基盤（Healthcare Public Key Infrastructure）の略称で、厚生労働省が所管する医療系国家資格を電子的に証明する厚生労働省の情報基盤です。日本医師会が発行する医師資格証は、この制度のもとに発行される医師の資格を証明できる顔写真付きのICカードです。これによって、電子の世界でも、現実世界でも、医師資格を持った医師本人であることを証明できます。現在導入が進められている電子処方箋を医師が発行するためには、医師資格証（HPKIカード）によるHPKI電子署名が必要になります。



HPKI電子署名

電子処方箋などの、電子化された医療情報文書に対してHPKI署名を付与することで、作成者が本人であり、医師資格を持っていることを公的に証明することができます。



身分証明書

災害時緊急時に券面の提示によって医師であることを証明できます。



デジタル医師資格証

電子処方箋などの、電子化された医療情報文書に対してHPKI署名を付与することで、作成者が本人であり、医師資格を持っていることを公的に証明することができます。



申請方法

←医師資格証のご申請は、電子認証センターのHPからお手続きください。
<https://www.jmaca.med.or.jp>

医師資格証（HPKIカード）

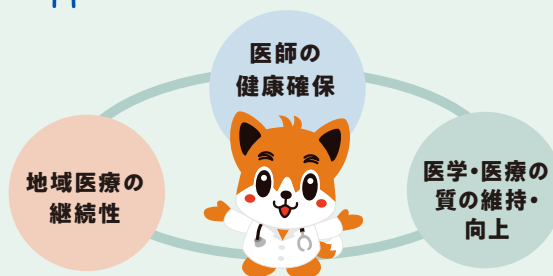
の詳細はこちら



医師の健康支援

医師の働き方改革

2024年4月から医師の時間外労働時間の規制により、時間外・休日労働の上限が原則年960時間以内になりました。日本医師会は働き方改革に対し、医師の健康確保はもちろんのこと、地域医療の継続性および医学・医療の質の維持・向上を同時に図るべく、取り組んでいます。



医療機関勤務環境評価センター

医療機関に時間外・休日労働時間の上限が年960時間を超える診療に従事する医師がいる場合、医療機関勤務環境評価センターの評価を受け、都道府県の指定を受けなければなりません。日本医師会は、厚生労働省の指定を受け、同センターを運営する中で、医療機関における医師の労働時間短縮のための取り組みの評価および管理者への必要な支援を行い、良質かつ適切な医療を提供する医療機関と勤務医の先生方をサポートしています。

水準	長時間労働が必要な理由	年の時間外・休日労働の上限時間
A水準	（臨時的に長時間労働が必要な場合の原則的な水準）	960時間
連携B水準	地域医療の確保のため、派遣先の労働時間を通算すると長時間労働となるため	1,860時間 （各院では960時間）
B水準	地域医療の確保のため	1,860時間
C-1水準	臨床研修・専攻医の研修のため	1,860時間
C-2水準	高度な技能の修得のため	1,860時間

厚生労働省「いきサポ」
の詳細はこちら



勤務医の健康支援
の詳細はこちら



認定産業医・認定健康スポーツ医



**日本医師会が認定する、
地域住民の健康を支える
ための制度があります。**

日本医師会認定産業医・日本医師会認定健康スポーツ医は
日本医師会が認定する資格の中でも大切な資格です。

日本医師会認定産業医

産業医とは、産業保健の専門的な知識に基づいて事業者へ指導・助言を行う医師を言い、日本医師会の認定産業医は、法令に定められた産業医の要件の一つとして認められています。労働安全衛生法では、常時勤務する労働者が50人以上の事業場には産業医の選任が義務付けられています。産業医選任の義務がない労働者が50人未満の事業場でも、国の事業として産業保健サービスの提供が行われており、多くの認定産業医が活躍しています。

産業医の職務



- 健康管理…労働者の健康に関する対応**
健康診断とその事後措置 等
- 職場巡視…実際の職場環境を見る**
作業管理(作業の内容等の改善)
作業環境管理(有害物質等、作業の周辺環境の管理)



日本医師会認定産業医の取得と更新

所定のカリキュラムに基づく産業医学基礎研修50単位以上を修了した医師、または、それと同等以上の研修を修了したと認められる医師に、申請に基づき日本医師会認定産業医の称号を付与し、認定証を交付します。この認定証は、有効期間5年間に、産業医学生涯研修20単位以上を修了した医師について更新ができます。



認定証



日本医師会が行う産業医研修会

日本医師会では、1965年より産業医の資質向上を目指して「産業医学講習会」を実施しており、3日間の開催で産業医学生涯研修16.5単位が取得できます。16.5単位全てを受講すると修了証が交付され労働衛生コンサルタントの筆記試験が免除になります。

受講料 15,000円(日医会員)
27,000円(日医会員以外)

日本医師会認定産業医
の詳細はこちら



認定産業医の手引
はこちら



日本医師会認定健康スポーツ医

日本医師会認定健康スポーツ医とは日本医師会が研修を行い、スポーツ競技者だけでなく一般の方を含めた健康増進を目的に認定される資格です。地域保健の中でのスポーツ運動指導・運動処方、産業医活動の中での指導などといった役割を担っています。

日本医師会認定健康スポーツ医の取得と更新

日本医師会および都道府県医師会が行う講習会(前期13単位・後期12単位)を修了した医師、または、日本整形外科学会認定スポーツ医・日本スポーツ協会公認スポーツドクター等の資格や研修を修了した方の申請に基づき日本医師会認定健康スポーツ医の称号を付与し、認定証を交付します。この認定証は、有効期間5年間に、健康スポーツ医学再研修5単位以上を修了した医師について更新ができます。



認定証



日本医師会が行う健康スポーツ医学講習会

日医会員であれば、会員価格で受講することができます。

健康スポーツ医学講習会(新規)
前期・後期 各10,000円(日医会員)
前期・後期 各18,000円(日医会員以外)

健康スポーツ医制度再研修会(更新)
5,000円(日医会員)
9,000円(日医会員以外)

日本医師会認定健康スポーツ医
の詳細はこちら



認定健康スポーツ医の手引
はこちら



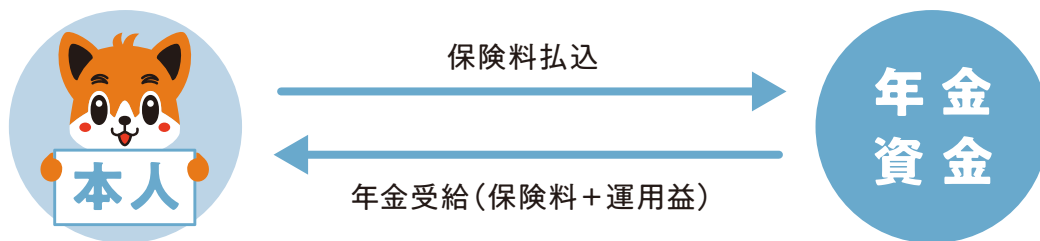
医師年金



医師のライフスタイルに
合わせた
自由な設計が可能です。

人生100年時代を見据えて一生涯続き、ご自身のライフスタイルに合わせて自由に設計ができる年金です。

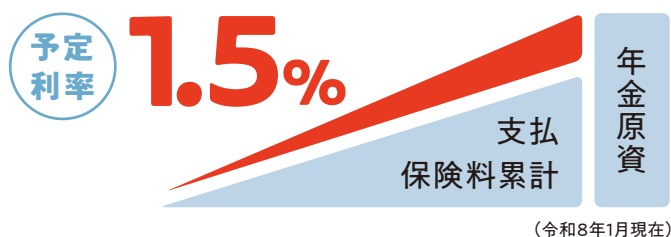
払い込んだ保険料を日本医師会が運用し、その資金を終身年金として受け取れます



自分の年金を自分で積み立てる。

公的年金は基本的に現役世代が支払った保険料を高齢者の年金給付に充てるという考え方で運営されていますが、医師年金はご自身が払い込んだ保険料がそのまま年金原資となって運用され、将来自分に年金として給付されることになります。また、私的年金であるため、勤務先が変わっても日本医師会の会員である限り継続して加入することができます。

医師年金の予定利率は1.5%、しかもローコスト！

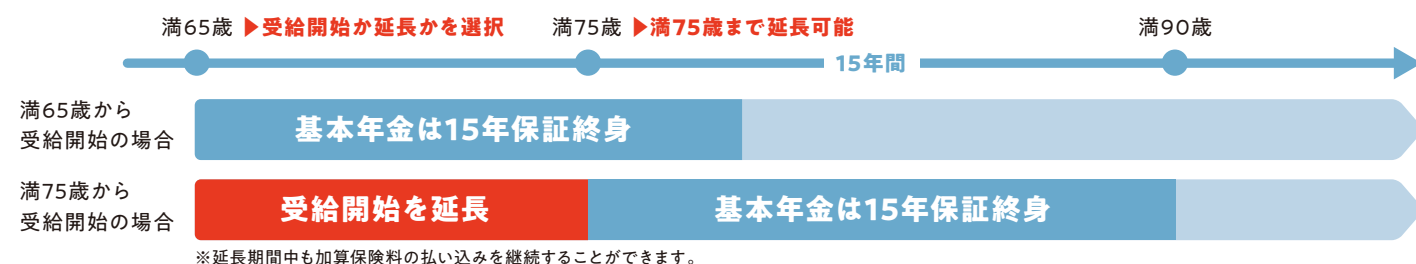


医師年金のコストは保険料の0.25%の手数料だけです。わずかな手数料を控除後、年率1.5%で年金原資が積み上がります。年金は人生100年時代にふさわしく、一生受け取っていただけます。万が一加入された先生ご本人が亡くなっても、ご遺族が年金を受け取れる保証期間があります。

保険料には基本年金保険料と加算年金保険料があります

基本年金保険料	加算年金保険料
月払 12,000円 または 年払 138,000円 または 一括払 満65歳まで、加入者全員に払い込んでいただきます。 ※払込年齢に応じた基本年金保険料の一括払ができます。	月払 一口 6,000円 ※回数・金額の上限なし または 随時払 一口 10万円 ※回数・金額の上限なし 任意の払い込みですので、月払・随時払は併用も可能です。 ※加算年金保険料はいつでも自由に増減できます(金額の上限なし)。

受給開始時期を満75歳まで延長できます



医師の年金について考えてみよう



日本医師会公式YouTube
「医師のための年金概要」



医師年金の詳細はこちら



医師国保



Insurance Premium

医師には
独自の健康保険組合が
あります。

所属する都道府県医師会員を組合員として運営する
医師国民健康保険組合です。
市町村国保とは異なり、組合独自の事業を行っています。

医師国民健康保険組合(医師国保組合)

医師国保組合の保険料算定は、市町村国保の所得を基礎とした賦課算定とは異なり、独自の賦課算定で運営しているのが特徴です。

メリット①

医師と家族、組合員に
雇用される従業員が
加入可能です。

メリット②

保険料は、概ね
市町村国保より低い設定と
なっております。

メリット③

市町村国保にはない
独自の付加給付や
保健事業があります。



加入対象となる方々

- ・開業を予定されている方(従業員5人未満)
- ・大学院生や子育てのため常勤を離れる場合の方

※なお、ご加入にあたりましては、各都道府県医師国保組合にお問い合わせください。

医師国保
の詳細はこちら



日本医師会 会員限定割引ホテル ON LINE 予約サービス

日医には
こんな特典も
あるよ!

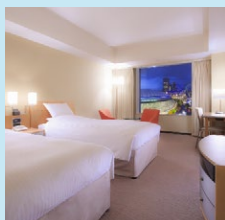


全国29のホテルおよびホテルチェーンの協力を得て、宿泊割引制度を実施しています。一部のホテルでは、臨床研修医向けの優待プランやレストラン・婚礼割引プランもありますので、ご利用ください。

<ホテル及びホテルチェーンの例>



東京ステーションホテル



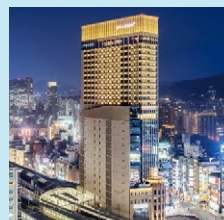
東京ドームホテル



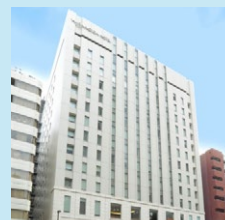
ルートインホテルズ



JR西日本ヴィアインホテルズ



阪急阪神第一ホテル
グループ*



ワシントンホテルズ*

*臨床研修医向け優待プランあり

<都内ホテル>

- アンダーズ東京
- The Okura Tokyo
(旧ホテルオークラ東京)
- 帝国ホテル東京・大阪
- ハイアットリージェンシー東京
- ホテル椿山荘東京
- ホテル虎ノ門ヒルズ
- ホテルニューオータニ
- リーガロイヤルホテル東京

<地方ホテル>

- 赤沢迎賓館(伊東)
- ウェスティンホテル仙台
- 日本平ホテル(静岡)
- ハイアットリージェンシー那覇沖縄
- ホテルグランフェニックス奥志賀

<ホテルチェーン>

- オークラニッコーホテルズ
- JR東日本・東海・西日本ホテルズ
- 住友不動産ヴィラフォンテーヌ
- 東急ホテルズ&リゾーツ
- パレスホテルグループ
- 藤田観光リゾート(箱根他)
- プリンスホテルズ&リゾーツ
- ホテルトラステイ
(2025.9現在)

ドクターサポートセンター

(日本医師会ドクターバンク)



すべての医師の
ライフステージに合わせて
全国的なマッチングを支援します。

女性医師等の就業を支援することについて
効果のある講習会、講演会等の実施または支援も行います。

すべての医師のドクターライフを、ともに考える。

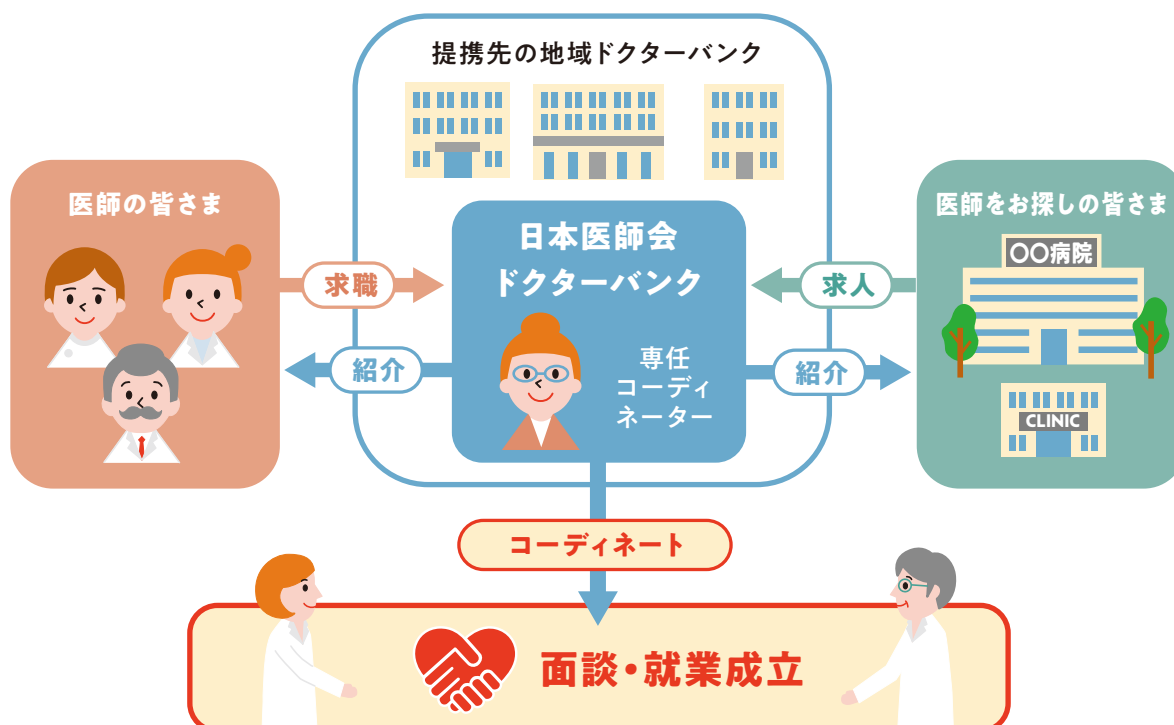
ドクターサポートセンター

ドクターサポートセンターでは、厚生労働省の指定事業として「医師偏在是正に向けた広域マッチング事業」と「女性医師支援センター事業」の2つの事業を行っています。

また、すべての医師を対象とした無料の職業紹介事業所「日本医師会ドクターバンク」をリニューアルオープンし、ライフステージやキャリアプランに合った就業先を全国規模で専任コーディネーターがおつなぎしています。



「日本医師会ドクターバンク」の特徴



都道府県医師会や行政の提携先ドクターバンクとも密接に連携
強力なネットワークをもとに、**全国規模でのマッチング**が可能です！

ドクターサポートセンター
の詳細はこちら
(2026年4月1日オープン)



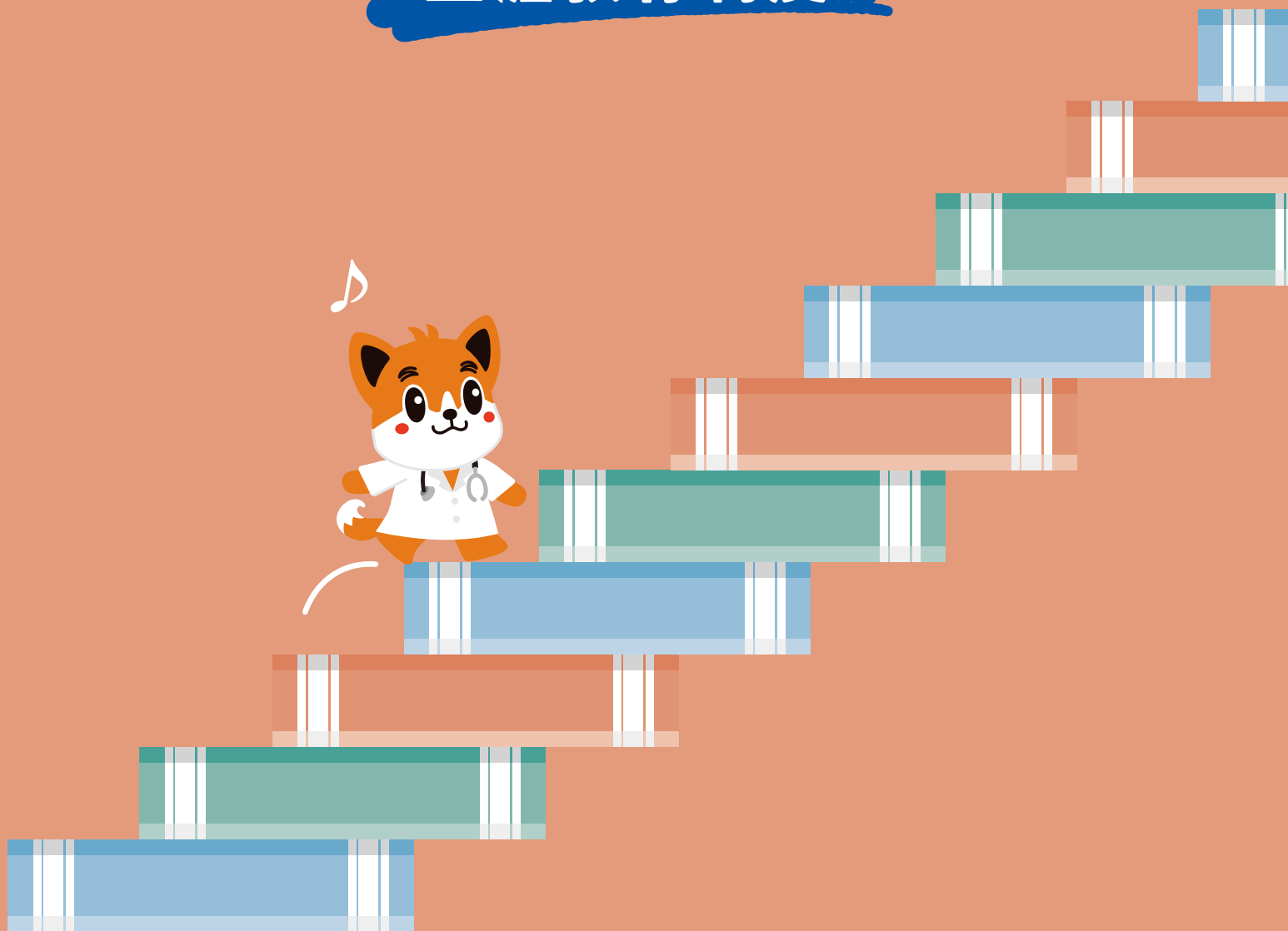
ドクターバンク
の詳細はこちら



女性医師支援
の詳細はこちら



生涯教育制度



医師のプロフェッショナリズム
を支える制度・サービスが
あります。

医師は生涯にわたり自己研鑽に励み、患者さんとの信頼関係を醸成し、最善の医療を提供することが求められています。

生涯教育制度

生涯教育制度は医師の学習意欲を高めること、そして医師が勉強に励んでいる実態を示すことで社会からの信頼を増すことを目的としています。連続した3年間に於いて単位数(30分で0.5単位)とカリキュラムコード数の合計数を60以上取得することにより「日医生涯教育認定証」が発行されます。

[単位・カリキュラムコードの取得方法]

- ① 日本医師会雑誌を利用した解答(日本医師会員のみのみ)
- ② 日医e-ラーニングによる解答(日本医師会員のみのみ)
- ③ 講習会・講演会・ワークショップ等への参加
- ④ 医師国家試験問題作成
- ⑤ 臨床実習・臨床研修・専門研修制度における指導
- ⑥ 体験学習(共同診療・病理解剖見学・手術見学等の病診・診診連携の中での学習等)
- ⑦ 医学学術論文・医学著書の執筆



日医生涯教育認定証



生涯教育制度
の詳細はこちら



日医e-ラーニング 日本専門医機構認定共通講習が受講できます

「日医e-ラーニング」は、インターネット上で生涯教育制度における単位・カリキュラムコードが取得できる日本医師会会員向けの教育コンテンツです。

配信しているコンテンツを受講し、セルフアセスメントにおいて80%以上の正答率を得ることによって、指定されたカリキュラムコードと単位が取得できます。

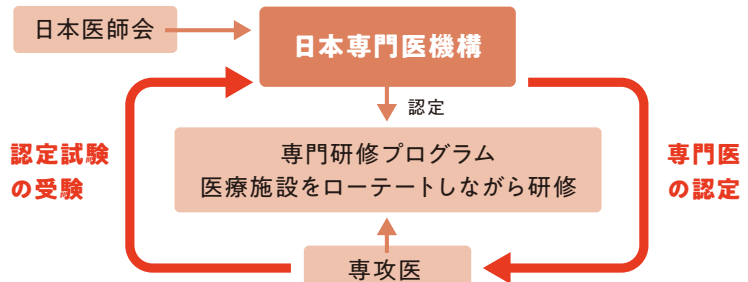
「日医e-ラーニング」の一部コンテンツでは、日本専門医機構が認める専門医共通講習の一部の単位が取得できます。日本医師会員のみのみ受講できる学習教材であり、専門医共通講習の単位取得に大きなメリットとなっています。



<イメージ>

医学・医療の質の維持・向上にむけて

日本医師会は我が国の医学・医療の発展に尽くしています。たとえば、専門医になるためには、「日本専門医機構」が認定したプログラムで研修することになりますが、同機構には日本医師会の役員が参画し、より良い制度の実現に向けて取り組んでいます。



国民向けの

日本医師会は国民の生命と健康を守るため、日々新しい情報を国民向けに発信しています。



日本医師会公式YouTubeチャンネル



日本医師会LINE公式アカウント



学習支援



地域住民から信頼される
「かかりつけ医機能」の能力を
維持・向上する研修があります。

また、医師の学習に欠かせない電子書籍配信サービスや
豊富な資料で、学習・研究活動をサポートします。

日医かかりつけ医機能研修制度

日本医師会では、かかりつけ医を「なんでも相談できる上、最新の医療情報を熟知して、必要な時には専門医、専門医療機関を紹介でき、身近で頼りになる地域医療、保健、福祉を担う総合的な能力を有する医師」と位置づけています。本研修制度は、今後のさらなる少子高齢社会を見据え、地域住民から信頼される「かかりつけ医機能」のあるべき姿を評価し、その能力を維持・向上するための研修制度です。

[かかりつけ医機能]

- ① 患者中心の医療の実践
- ② 継続性を重視した医療の実践
- ③ チーム医療、多職種連携の実践
- ④ 社会的な保健・医療・介護・福祉活動の実践
- ⑤ 地域の特性に応じた医療の実践
- ⑥ 在宅医療の実践

[かかりつけ医機能研修制度]

基本研修

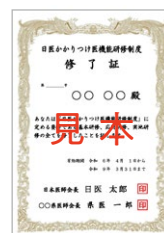
日医生涯教育認定証の取得

応用研修

日医が行う中央研修、関連する他の研修会、および一定の要件を満たした都道府県医師会並びに郡市区等医師会が主催する研修等の受講

実地研修

社会的な保健・医療・介護・福祉活動、在宅医療、地域連携活動等の実践



日医Lib(日本医師会e-Library)

日医Libは学術に特化した電子書籍配信サービスです。現在、機関誌である日本医師会雑誌をはじめとする各種の出版物など約1,800冊を収録しており、都道府県医師会コーナー、研修医・医学生コーナー等が設置されているほか、一部一般公開も行っています。利用者は日医Libアカウントを取得後にタブレット・スマートフォン・パソコンなど、ご自身のデバイスへ豊富な出版物の中から必要なコンテンツを取り込み、論文・専門書向けに最適化されたビューワーで閲覧することができます。



日医かかりつけ医機能研修制度

の詳細はこちら



日医Lib

の詳細はこちら



LIBRARY

日本医師会医学図書館

日本医師会の会員のための図書館はいつでもどこからでもご利用いただけます

豊富な資料と充実した図書館ネットワークで
学習・研究活動をサポートします

- 学会誌、医学専門誌、海外の主要な医学雑誌
- 国内外の書籍、診療ガイドライン ● 研究報告書、政府統計 など



※Web、FAX、郵便による申込
※複写などは郵送等で提供

利用者登録
不要

Web申込OK
来館利用OK

日本医師会医学図書館

- 文献複写サービス ● 図書貸出サービス
- 調査(レファレンス)サービス

郵送、
PDF*等
お届けします

*条件あり

幅広い分野
に対応

全国の大学附属図書館、
国立国会図書館など

日本医師会HPメンバーズルームには、各サービスの申込みフォームとあわせて雑誌特集テーマや新着図書のご案内、蔵書検索などを掲載しています。

日本医師会医学図書館

の詳しい利用案内はこちら



研究・表彰



医学の研究を顕彰しています。
また、国際的な研究・
高度研修制度もあります。

医学の発展に貢献した方、将来性に富む研究を
実践している方を顕彰しています。

また、中堅医師の国際的な研究・高度研修プログラムがあります。

日本医師会医学賞・日本医師会医学研究奨励賞

日本医師会医学賞・医学研究奨励賞選考委員会において選考のうえ、医学賞は4名、奨励賞は15名に授与しています。

〔日本医師会医学賞〕

日本医師会会員で、医学上重要な業績をあげた者に授与しています。過去には、ノーベル賞を受賞した山中伸弥先生、本庶佑先生も受賞されています。

毎年1回、基礎医学・社会医学・臨床医学(内科系)・臨床医学(外科系)の各部門を通じ計4名に授与しています(副賞は1名500万円です)。



〔日本医師会医学研究奨励賞〕

日本医師会会員で、医学上将来性に富む研究を行っている者に授与しています。

毎年1回、基礎医学・社会医学・臨床医学(内科系)・臨床医学(外科系)の各部門を通じ計15名に授与しています(副賞は1名150万円です)。



ハーバード大学T.H. Chan公衆衛生大学院武見国際保健プログラム

ハーバード大学T.H. Chan公衆衛生大学院武見国際保健プログラムは、医療資源の開発と配分を提唱した、武見太郎元日本医師会長の構想に着目したハーバード大学が、日本医師会の協力のもと、1983年に設立した中堅の専門家のための学際的研究プログラムです。これまでに60カ国以上約330名の武見フェローを輩出し、各国の大学、官民研究所、政府保健当局、非政府組織、国際機関といった国際保健の第一線で活躍するなど、その国際ネットワークは世界中に広がっています。同プログラムに参加した武見フェローの専門は、経済学、栄養学、看護学、医学教育、地域医療、疫学、生命倫理学、医療サービスの利用、感染症、社会学、救急医療、医療保険、労働衛生、政策学など多岐にわたっています。



JMA Journal

英文オンラインジャーナル『JMA Journal』は、日本医師会が日本医学会との協力で発行しているオープンアクセスの総合医学雑誌です。掲載論文は医学、医療全般をカバーし、医療政策やオピニオンを含む幅広い分野について、国内外の医学研究者からの投稿を受け付けています。**投稿料・掲載料は当面無料**です。査読後、受理された論文から速やかに早期公開されます。J-Stage、PMC、ESCIに収載されており、2024年のジャーナル・インパクトファクターは1.8です。諸外国からのアクセスも年々増加しています。



医師会に入会するには？



入会のご案内

研修医及び 医学部卒業後5年間の 会費は免除！

多くの若手医師に入会いただけるよう、研修医及び医学部卒業後5年間は、会費が免除になるほか、15,000円で日本医師会医師賠償責任保険に加入できます。

※会費の免除は所定の手続きが必要です。また、病院や診療所の開設者・管理者等や30歳超は掛金が異なります。
※医学部卒業後5年間を超えた研修医は、令和8年4月1日より会費を免除。

医師会入会のフロー

入会手続きは、お手持ちのスマートフォンやパソコン等から、「医師会会員情報システム(MAMIS: マミス)」を通じて、簡単に行うことができます。

STEP1 MAMISに アクセス



MAMIS内に
マイページを
作成



MAMIS HP

入会先の郡市区
等医師会を
日本医師会ホーム
ページで検索



医師会検索HP

※原則、勤務先(または住居先)を所管する郡市区等医師会を通じて入会手続きを行います。
ご不明な点がございましたら、当該医師会までお問い合わせください。

STEP2 MAMISから 入会申請

マイページから、STEP1で確認した
郡市区等医師会に入会申請



手続きは
Webで簡単！

MAMISで簡単に申込、便利な機能がいっぱい！

- 各種研修会等の修了証、参加証、認定証の出力が可能
- 認定産業医、認定健康スポーツ医の新規または更新申請が可能(随時機能拡充)
- 各種研修会の申込が可能(順次公開)
- 日本医師会生涯教育制度、認定産業医、認定健康スポーツ医、日医かかりつけ医機能研修制度等の単位取得状況の確認が可能 etc.

日本医師会入会案内
の詳細はこちら



日本医師会 会費 (令和8年4月1日～)

会員区分		年額
A①会員 (病院・診療所の開設者、管理者及びそれに準ずる会員)		126,000円
A②(B)会員 (A①会員、A②(C)会員以外の会員)	31歳以上	64,000円
	30歳以下	39,000円
A②(C)会員 (医師法に基づく研修医)		21,000円
B会員 (A②(B)会員のうち日本医師会医師賠償責任保険加入の除外を申請した会員)		28,000円
C会員 (A②(C)会員のうち日本医師会医師賠償責任保険加入の除外を申請した会員)		6,000円

会費減免適用後

高齢減免 (年齢が83歳以上で日本医師会に 20年以上在籍している会員)	医師賠償責任 加入	A①	78,000円
		A②(B)	48,000円
疾病等減免 (疾病、出産育児、研修医、 医学部卒業後5年間(年度単位))	医師賠償責任に 加入しない	A①、A②(B)、B	0円
	医師賠償責任 加入	A①	66,000円
		A②(B)(31歳以上)	36,000円
		A②(B)(30歳以下)	15,000円
		A②(C)	15,000円
	医師賠償責任に 加入しない	A①、 A②(B)(31歳以上)、 A②(B)(30歳以下)、 A②(C)、B、C	0円

都道府県医師会連絡先一覧

北海道医師会	電話：011-231-1432	滋賀県医師会	電話：077-514-8711
青森県医師会	電話：017-723-1911	京都府医師会	電話：075-354-6101
岩手県医師会	電話：019-651-1455	大阪府医師会	電話：06-6763-7000
宮城県医師会	電話：022-227-1591	兵庫県医師会	電話：078-231-4114
秋田県医師会	電話：018-833-7401	奈良県医師会	電話：0744-22-8502
山形県医師会	電話：023-666-5200	和歌山県医師会	電話：073-424-5101
福島県医師会	電話：024-522-5191	鳥取県医師会	電話：0857-27-5566
茨城県医師会	電話：029-241-8446	島根県医師会	電話：0852-21-3454
栃木県医師会	電話：028-622-2655	岡山県医師会	電話：086-250-5111
群馬県医師会	電話：027-231-5311	広島県医師会	電話：082-568-1511
埼玉県医師会	電話：048-824-2611	山口県医師会	電話：083-922-2510
千葉県医師会	電話：043-242-4271	徳島県医師会	電話：088-622-0264
東京都医師会	電話：03-3294-8821	香川県医師会	電話：087-823-0155
神奈川県医師会	電話：045-241-7000	愛媛県医師会	電話：089-943-7582
新潟県医師会	電話：025-223-6381	高知県医師会	電話：088-824-8366
富山県医師会	電話：076-429-4466	福岡県医師会	電話：092-431-4564
石川県医師会	電話：076-239-3800	佐賀県医師会	電話：0952-37-1414
福井県医師会	電話：0776-24-0387	長崎県医師会	電話：095-844-1111
山梨県医師会	電話：055-226-1611	熊本県医師会	電話：096-354-3838
長野県医師会	電話：026-219-3600	大分県医師会	電話：097-532-9121
岐阜県医師会	電話：058-274-1111	宮崎県医師会	電話：0985-22-5118
静岡県医師会	電話：054-246-6151	鹿児島県医師会	電話：099-254-8121
愛知県医師会	電話：052-241-4136	沖縄県医師会	電話：098-888-0087
三重県医師会	電話：059-228-3822		

(令和7年12月1日現在)

日本医師会の刊行物



【日本医師会雑誌】
月1回発行され、会員に配布される機関誌。年に2回特別号も発行しています。



【日医ニュース】
月2回発行され、会員に配布される医政の分野を扱うニュースレターです。

[日本医師会綱領]

日本医師会は、医師としての高い倫理観と使命感を礎に、人間の尊厳が大切にされる社会の実現を目指します。

1. 日本医師会は、国民の生涯にわたる健康で文化的な明るい生活を支えます。
2. 日本医師会は、国民とともに、安全・安心な医療提供体制を築きます。
3. 日本医師会は、医学・医療の発展と質の向上に寄与します。
4. 日本医師会は、国民の連帯と支え合いに基づく国民皆保険制度を守ります。

以上、誠実に実行することを約束します。

公益社団法人 **日本医師会**

〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16

TEL 03-3946-2121(代表)

URL <https://www.med.or.jp/>

公式ホームページ



公式YouTubeチャンネル



LINE公式アカウント

